

# ZOOスポット 72

みなさんこんにちは。獣医師の塩田幸弘です。  
私は、昨年4月から京都市動物園に配属となりました。配属後1年間は、担当動物の無い状態でしたが、今年4月からついに担当動物を持つようになり、おとぎの国・大水禽舎・大型肉食獣などを担当しています。私は小さいころから生き物が好きで、小学生の頃などは野山を駆け回り、毎日のように一人で虫や魚などを捕って遊んでいました。家でもイヌ・ニワトリ・魚・カエル・サンショウウオなど、様々な生物を飼ったりもしました。そういった中で、今に至るまで生き物に対する興味が尽きることなく、それを活かせる仕事として動物園という多種多様な動物のいる職場で働くことができ、毎日やりがいを感じながら仕事をしています。特に最近では、4月16日に、おとぎの国がリニューアルオープンとなりました。おとぎの国は、「いのち」を基本テーマとし、「いのち」の尊さや「いのち」のつながりを伝えることを目的としています。おとぎの国内では、家畜であるヤギやヒツジ、愛玩動物であるウサギやテングネズミといった動物たちを展示しており、実際に動物たちに触れて、「いのち」のあたたかさを感じることができるようになっています。「いのち」という言葉を聞くことと楽しいイメージもあるかと思いますが、決してそんなことはありません!!ウサギやテングネズミを抱いた際に、最初



は怖がっていた子どもたちの顔に笑顔が浮かんだ瞬間や、ミニブタやヤギなどに触れた際の驚きと喜びの入り混じった顔の一つ一つに、かけがえのない「いのち」のつながりを実感しています。こうした来園者の方々の笑顔の一つ一つを励みに、今後ともより多くの喜びと感動を与えられるような仕事をしたいと考えています。動物園でお会いできるのを楽しみにしておりますので、是非動物園へ足を運んでくださいますよう、よろしくお願いたします。



## 野生動物学のすすめ

(京都市動物園・京都大学野生動物研究センター(WRC)連携3周年記念事業)



## ず〜どすえ。動物園大学in京都

(WRCと連携5施設のシンポジウム)



[WRC中庭教授による、マンダリンのお勉強]



[ず〜どすえ。動物園大学in京都]

3/19から3/21まで京都市動物園とWRCとの連携3周年事業「野生動物学のすすめ」を実施しました。また、今年度は3/21にWRCと連携する名古屋市東山動物園、よこはま動物園ズーラシア、熊本市動物園、チンパンジー・サンクチュアリ・宇土、京都市動物園とWRCによるシンポジウム「ず〜どすえ。動物園大学in京都」を開催しました。  
「野生動物学のすすめ」では、WRCと連携し研究を行ってきた成果をポスターで紹介するほかに、小学5年生から高校生を対象にWRC職員による体験型プログラム「ゲノム実習」や「チンパンジーのお勉強体験」を実施しました。また、キリン舎前の広場では野生動物の保全に取り組むNPOがブースを出し活動紹介やグッズ販売を行いました。  
「ず〜どすえ。動物園大学in京都」ではあいにくの雨模様で京都府会館で準備した200席が埋まる心配でしたが、あっという間に満員となりました。門川京都市長の挨拶から始まり、各施設の飼育員が現在行っている取組みを紹介しました。その後のフリートークでは活発な質疑応答が行われました。また、午後からは日本動物園水族館協会山本会長から今後の動物園の在り方についての講演があり、会場からも多くの質問や意見が出され、充実したシンポジウムとなりました。



[NPOブース]



[WRC村山教授による「ゲノム実習」]

定期購読を希望される方は、80円切手4枚(1年分)を同封して京都市動物園までお申し込み下さい。

動物園だより No.157  
発行所 京都市動物園  
京都市左京区西陣法善寺町西陣公園内 Tel. 075(771)0210

文化市民局動物園 京都市印刷物 第234159号

(題字 京都市長 門川大作)

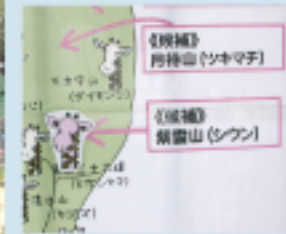
## 投票の結果、名前が決まりました!

### アミメキリン



[キリンの親子。産んでいるのが「紫雲」]

### 紫雲



[京都の山、紫雲山から命名]

キリンの赤ちゃん(3月12日生まれ)の名前は908票の中から「紫雲(しうん)」に決定しました! たくさんの投票、ありがとうございました。

### ヤブイヌ

ヤブイヌの赤ちゃん(1月9日生まれ)の名前は668票の中から、オス2頭が「まろ」と「だいもん」、メスは「はんな」に決定しました。これからもよろしくね!



[愛称発表]

### まろ だいもん はんな



[ヤブイヌの子どもたち]

## 誕生!



[ライチと子どもたち]



[ルナと子ども]

ワオキツネザルに3頭の赤ちゃんが生まれました。3月26日にライチが双子の赤ちゃんを出産し、4月26日にルナが1頭出産しました。サル舎が一気に賑やかになりました!



[お獲に赤ちゃんを抱いている]



[巣箱で寝るショウガラゴの赤ちゃん]

爬虫類館にも嬉しいニュースです。4月16日と5月3日、インドオオコウモリに赤ちゃんが生まれ、4月26日には、ショウガラゴが1頭出産しました。どちらもお母さんが大事に抱えています。

## 安らかに



3月7日オジロフシ(オス)が急性心不全のため亡くなりました。1994年に来園し17年間、皆さんに愛されてきました。



3月25日ビルマニシキヘビの「タマコ」が卵巣腫瘍のため亡くなりました。4mを超える大きな体でたくさんの注目を集めました。今までありがとうございました。

## 新「おとぎの国」オープン式典開催

共汗でつくる新「京都市動物園構想」の最初の整備事業として、新「おとぎの国」がオープンしました。



[式典開催]



[テープカット]

4月16日に式典を開催し、たくさんの来賓の方に参加していただきました。

## 新しい仲間

新しくなったおとぎの国にレッサーパンダのメス「古都(コト)」が、山口県周南市徳山動物園からやって来ました。みなさんよろしくね!



古都(コト)です。





# 「おとぎの国」が新しく生まれ変わりました!!

～ここは動物とふれあい、いのちの大切さを学ぶ場所です。～



## 遊歩道

動物舎の上にある遊歩道からは、木の上にいるレッサーパンダや岩山にいるヤギを眺めることができ、隣の動物舎にいるタワーの上のチンパンジーも観察することができます。また、疏水や東山にかけての景観を含め、四季の移ろいもお楽しみいただけます。今後の園内整備の中で、この遊歩道は「おとぎの国」から「アフリカの草原」さらには、「利便施設」へと繋がっていきます。

## レッサーパンダ舎



北と南の2箇所にグラウンドがあります。北グラウンドと室内展示室の間は、頭上の金網チューブを通して行き来します。ガラス張りの室内展示室は冷暖房完備の快適空間で、雨天や酷暑の日にも彼らの姿を御覧いただけます。

## アヒル・ニワトリケージ

以前は学校などでも飼育されていたアヒルやニワトリを、間近に観察することができます。

## オウム・フクロウケージ

オウムやフクロウを間近に見ることができ、個性豊かな彼らをじっくり観察していただけます。オウムたちの機嫌が良いときは、覚えた言葉を話すかも知れません。

## 寄贈のお知らせ

国際ソロプチミスト京都様からカメ池の風車とツリーサークルベンチを、国際ソロプチミスト京都・桃華様からペンギンプールの太陽光発電による噴水を、並木グループ様から桜の若木2本寄贈していただきました。ありがとうございました。

## ふれあいグラウンド

ヤギ・ヒツジ・ミニブタとふれあい、癒しのひと時をお楽しみください。2つのグラウンド間には跳ね橋があり、高いところに登るのが得意なヤギが、橋を渡ってグラウンドを行き来する姿を見ることができます。



## トイレ

ヤギ・ヒツジ・ブタ

管理室

テント

手洗い場所



レッサーパンダ  
オウム・フクロウ

アヒル・ニワトリ

ふれあいグラウンド

カメ池  
カメ

ペンギン

## テント

団体向け教育プログラム(なかよし教室)を実施します。利用日:火曜日～金曜日(祝日・休園日・GWは除く。)利用時間:10:00～10:30, 11:00～11:30, 13:30～14:00(定員、各80名)

プログラム:①ウサギ・テンジクネズミのふれあい ②ヤギへのえさやり ③ヒトと家畜とのかかわり(講習) ④動物のからだの違い(講習)

いずれか1つをお選びください。利用は予約制です。予約日時:火曜日～金曜日・9:00～17:00(休園日を除く。)動物園に電話又は来園にてお申し込みください。(FAXでの受付は行っていません。)



## ふれあいルーム

テンジクネズミやウサギ(日曜・祝日のみ)を、触ったり抱っこしたりすることができます。室内で天気によって左右されことなく、快適に御利用いただけます。火曜日から金曜日は定員制となっているため、落ち着いた空間でふれあいをお楽しみいただけます。ふれあいルームの前に設置された整理札をお取りいただき、時間前にお集まりください。



## ペンギンプール

周囲にガラス面を多く取り入れたプールで、ペンギンが餌を食べるところや水中を“飛ぶ”姿を間近で観察することができます。ソーラーパネルで発電し、ポンプを動かして噴水が上がります。天気が良い時は電力が増え、噴水の勢いが強くなります。